

はにわ通信

No.371 令和8（2026）年 2月号



【松阪の歴史を紹介します！】

松阪市には、遠い昔の人々が暮らしていた跡が記録された遺跡が、大小合わせてなんと1,500か所以上も存在しています。この多くの遺跡がある松阪市では、発掘調査が行われており、それによって「まつさかのれきし」にまつわる数々の発見が明らかになっています。その調査成果を皆様にお届けするため、2月14日（土）から冬季企画展が開催されます。

今回の企画展では、松阪市で発掘された遺構や遺物を通じて、遠い昔の遺跡に暮らしていた人々の生活の様子を紹介いたします。展示アイテムから垣間見えるのは、古代の人々がどのように暮らし、またその時代特有の文化や生活様式がどのようなものであったのかということです。当時を想像しながら見る遺跡や遺物からは、松阪市に根付いた歴史の奥深さや人々の営みが感じられます。

ぜひ、松阪市で発見された貴重な資料を通して、昔の人々の息づかいや文化を感じてみませんか？この機会にぜひ足を運んでみてください。歴史の魅力を存分に感じられる展示会に、皆様のご来場を心よりお待ちしております。（担当）

【令和8年2月：米の食べ方の変化】

稻作が始まる弥生時代になると米食の歴史が始まります。当初は大切な米を腐らせないよう、暖かい蒸気を入れるために底に穴のあいた甌を使って米を蒸して食べるという方法をとっていたようです。それが、時代が進み平安時代半ばになると米を甌で蒸す調理法から、野菜などの食べられるものを米と一緒に鍋に入れ、煮て食べるようになります。これが、現在の食器の構成に似ています。

平安時代半ば以降、鎌倉・室町時代には、調理具や食器の形や用途は、土師器鍋で煮て、陶器の茶碗や皿などで食事をするという現在の食器の構成に似ています。



清水谷6号墳出土品
(嬉野天花寺町)

～所長からひと言～



古代の甌（底に穴が開いている）

文化財センター はにわ館&ギャラリー催し物予定

【はにわ館】 入館料110円 18歳以下無料 開館時間9:00～17:00 入館は16:30まで

第1展示室 常設展 「宝塚古墳の謎」
第2展示室 冬季企画展 「まつさかのれきし、みつけた！」～最近の発掘調査成果から～
2月14日（土）～3月29日（日）

【イベント】

ミュージアムトーク ※事前申込不要
2月14日（土） 13時半～14時半 はにわ館 第2展示室
ワークショップ 「色付き勾玉を作ろう」 ※事前申込不要
3月20日（金・祝） 第3G
午前：10時～12時 (受付時間 10時～11時)
午後：13時半～15時半 (受付時間 13時半～14時半)
・参加費：500円
・定員：各50人（先着受付順）
・その他：開催当日の受付時間内に、文化財センターまでお越しください。

【ギャラリー】 入場無料

第2G ◆（嬉野文化協会）第8回嬉野芳墨会展
1月27日（火）～2月1日（日） 9時半～16時 ※初日は13時から、最終日は15時まで
第1G ◆（嬉野文化協会美術工芸部）陶器の会作陶展
1月28日（水）～2月1日（日） 9時半～16時 ※最終日は15時まで
第1G ◆2025年度 平和教育展
2月7日（土）・2月8日（日） 10時～16時 ※最終日は15時まで
第1G ◆松阪美術協会 新春展
2月18日（水）～2月23日（月・祝） 10時～17時 ※最終日は16時まで

< 2月の休館日 2日（月） 9日（月） 12日（木） 16日（月） 24日（火） >

【発行】松阪市文化財センター

【TEL】0598-26-7330 文化財センターの情報はこちら →

【FAX】0598-26-7374

【HP】<https://www.city.matsusaka.mie.jp/site/bunkazai-center/>

